

地域医療研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医 2年

新城市民病院の総合診療科で地域研修をさせていただきました。ご指導賜りました総合診療科の先生方、医療スタッフの方々、お世話をしてくださった事務の方々に感謝申し上げます。

研修では、初診の患者さんをメインに診療に携わらせていただきました。日々の研修における救急外来での診療とは違い、患者さん1人1人に丁寧に時間をかけて診察していくことで患者さんの想いに寄り添った診察ができたのではないかと感じております。しかし普段、検査に頼りきりであった私は問診と身体診察だけで疾患の予想をつけて考察する能力がまるで不足していることを痛感いたしました。指導医の先生からの振り返りで、自分の問診内容が甘いことに気づかされ、自分では思いつかないような視点からの指摘をいただき非常に勉強になりました。この毎日の振り返りや勉強会は、疑問点をその日のうちに解決することができ、一つ一つの診療を無駄にすることなく自分の糧にすることができるとても有益なものだと感じました。これからも毎日振り返り、日々の課題を解決していく習慣を続けていき自分の成長に役立てていきたいと思いました。

また、作手診療所や介護老人保健施設、しんしろ助産所、訪問介護、訪問リハビリでも研修させていただきました。この研修では、新城市での地域医療の実態、特性を肌で感じることができました。利用する患者さんとお話する機会も多く、そこに住む人々がどのように医療機関、サービスを利用して、何を求めているのかを患者の視点からも知ることができる機会ともなりました。普段の救急現場では疾患にとらわれすぎて、社会的背景等は何気なくしか聞いておらず、外来受診時や入院期間中だけではなく患者さんの長いスパンでの生活に目を向けていなかったと思います。患者本人や家族の意思や希望、社会的な環境に配慮し医療提供者側が何を考えていかなければならないのかを今後は深く考えていきたいです。

新城市民病院での内科カンファレンス、訪問リハビリでの介護サービス事業者会議に参加させていただくことで医療スタッフ同士の連携の重要性も再確認できたので、今後チーム医療をしていく中で多くのスタッフと協力して患者さん中心の医療を提供できるよう努めたいと思いました。

研修で出会った方にはみなさん優しく接していただき、新城の方々の人間性の良さや温かみを感じました。地域研修は4週間と短い期間ではありましたが、新しい発見が多く、非常に楽しく有意義な研修となりました。新城市民病院で学ばせて頂いたことを無駄にすることなく、これからの日々の診療に従事していきたいと思っています。貴重な機会をくださりありがとうございます。大変お世話になりました。